

# 市町村合併後における地域生活交通確保策に関する ワークショップ開催のための企画調査

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-11-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.24517/00063084">https://doi.org/10.24517/00063084</a>

This work is licensed under a Creative Commons  
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0  
International License.



# 市町村合併後における地域生活交通確保策に関するワークショップ開催のための企画調査

Research Project

All

## Project/Area Number

17636012

## Research Category

Grant-in-Aid for Scientific Research (C)

## Allocation Type

Single-year Grants

## Section

企画調査

## Research Field

交通工学・国土計画

## Research Institution

Kanazawa University

## Principal Investigator

高山 純一 金沢大学, 自然科学研究科, 教授 (90126590)

## Co-Investigator(Kenkyū-buntansha)

喜多 秀行 鳥取大学, 工学部, 教授 (50135521)

竹内 伝史 岐阜大学, 地域科学部, 教授 (70065283)

藤原 章正 広島大学, 国際協力研究科, 教授 (50181409)

谷口 守 岡山大学, 環境学研究科, 教授 (00212043)

中村 文彦 横浜国立大学, 環境情報研究院, 教授 (70217892)

## Project Period (FY)

2005

## Project Status

Completed (Fiscal Year 2005)

## Budget Amount \*help

¥3,500,000 (Direct Cost: ¥3,500,000)

Fiscal Year 2005: ¥3,500,000 (Direct Cost: ¥3,500,000)

## Keywords

## Research Abstract

本企画調査を行うことにより、日本国内の土木学会や交通工学研究会等に所属する交通計画・地域計画・交通政策論などを専門とする研究者が一堂に会して、「市町村合併後における地域生活交通確保のための交通施策のあり方に関して議論するワークショップ」を開催することができた。特に、今回は土木学会の中の土木計画学研究小委員会(規制緩和後におけるバスサービスに関する研究小委員会:代表者 喜多秀行 鳥取大学教授)とも連携しながら、全国シンポジウムの開催、個別ワークショップの開催、研究課題整理のための研究会(研究分科会)を立ち上げることができた。

具体的には、土木学会の全国大会(平成17年9月)や土木計画学研究発表会(平成17年12月)、において、研究準備会を立ち上げるとともに、それとは別に、2回の研究会「平成17年度科学研究費基盤研究C(企画調査)研究会(第1回金沢ワークショップ)(第2回山代ワークショップ)」を開催し、「市町村合併後における地域生活交通の抱える課題」、「規制緩和後における地方公共交通のあり方」、「地域生活交通確保のための補助制度基準の決め方」など、さまざまな話題について、議論を行った。

ワークショップでは、(1)国内外の地域内生活交通に関する既存研究のレビュー、(2)国内における市町村合併に関する既存研究のレビュー、(3)国内における市町村合併協議会における協議内容の確認など、を行った。また、地方においてバス事業を展開しているバス事業者(経営者)との意見交換を行うとともに、市町村合併に伴う新たな課題の整理を行った。さらに、次年度に開催予定の全国シンポジウム(全国ワークショップ)開催に向けた事前打ち合わせを行った。ただし、今回、いろいろな角度から調査を行い、さまざまな観点で議論した結果、大規模なシンポジウムを開催する前に、各地域でミニシンポジウム(プレミニシンポジウム)を開催した方が、「市町村合併後における地域生活交通確保のための交通施策のあり方」を議論するうえで、効果的であろう、との意見が出され、今後さらに検討することになった。

## Report (1 results)

2005 Annual Research Report

## Research Products (22 results)

All	2006	2005
All	Journal Article	

[Journal Article] 交通機関分担を考慮した最適バス路線網システムの構築に関する研究	2006	▼
[Journal Article] 来街手段と中心市街地での主要トリップ目的を考慮した活動拠点選択特性分析	2006	▼
[Journal Article] 地域住民からみた市町村合併後における公共交通システムのあり方に関する研究	2006	▼
[Journal Article] 大都市周辺部の低頻度運行鉄道沿線地域整備策の検討	2006	▼
[Journal Article] 地域公共交通の運営方式に関する適材適所の検討	2006	▼
[Journal Article] 人口減少時代の日本における市町村レベルでの持続可能性評価指標の提案	2006	▼
[Journal Article] 市町村合併による公共交通システムに関する研究	2005	▼
[Journal Article] 需要変動を考慮した最適バス路線網策定システムの構築	2005	▼
[Journal Article] Evaluation of Public Transit Congestion Mitigation Measures Using Passenger Assignment Model.	2005	▼
[Journal Article] 乗客配分モデルを用いた公共交通の混雑緩和施策評価	2005	▼
[Journal Article] Evaluation on Effect of Arrival Time Information Provision Using Transit Assignment Model.	2005	▼
[Journal Article] Study on Service Characteristics of Demand Responsive Transport Using Sequential Demand Assignment Algorithm.	2005	▼
[Journal Article] 一括割り当て型DRT運行計画システムの開発	2005	▼
[Journal Article] 乗客配分モデルを用いたバスサービスの評価に関する研究-京都市バスネットワークを例に-	2005	▼
[Journal Article] 最小一般化費用Hyperpath探索アルゴリズムを用いたバス路線再編によるサービス変化の検討	2005	▼
[Journal Article] 所要時間信頼性に着目した公共交通ネットワークのサービス評価に関する研究	2005	▼

[Journal Article] グループに着目した朝市来訪者の行動特性と環境影響

2005 ▾

[Journal Article] 交通ベネトレーションによる地域モビリティ向上効果の計測

2005 ▾

[Journal Article] 交通ベネトレーションによる都市郊外部住宅地区における経済的便益の計測

2005 ▾

[Journal Article] わが国初の市民共同方式による醍醐コミュニティバス

2005 ▾

[Journal Article] 地域交通政策における課題と今後の展望

2005 ▾

[Journal Article] 正便益不採算問題への対応-採算神話が阻んできた公共交通の改善-

2005 ▾

URL: <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-17636012/>

Published: 2005-03-31 Modified: 2016-04-21